

新産業創出育成 支援事業

自治体情報

人口 76,660 人

標準財政規模 15,752,338 千円

担当課 埼玉県 和光市 市民環境部 産業支援課 産業育成支援担当

電話番号 048-424-9114

ホームページ <http://www.city.wako.lg.jp>

事業期間 平成 19 年度から

参考とした施策 埼玉県本庄市 インキュベーション・オン・キャンパス本庄早稲田

関係施策分類

施策の概要

1 取り組みに至る背景

平成 17 年 1 月に埼玉県と理化学研究所が地域振興として創業支援や企業への技術面における助言を行うなど科学技術を活かした包括的協力協定を締結したことを受け、平成 17 年 3 月に埼玉県、和光市が共同で「国際研究開発・産業創出」の構造改革特区の申請を行い承認された。

構造改革特区の申請承認を足がかりに、埼玉県、理化学研究所及び和光市との事業協議が始まった。その中において、総合振興計画や都市マスタープランにおける、新産業の事業活動の環境整備を視野に入れた理化学研究所隣接地へのインキュベーション施設の建設事業が開始された。インキュベーション施設は、理化学研究所が有する研究人材・技術力・研究開発力及び研究設備等の資産を活用し研究成果の普及や実用化に努めるとともに中小企業の新規事業展開及びベンチャー創業を支援し、新規事業の創出を推進するものである。(独) 中小企業基盤整備機構、(独) 理化学研究所、埼玉県、和光市が主体となり、和光市理研インキュベーションプラザを運営し、施設にはインキュベーション・マネージャーが常駐し、様々な支援機関等と連携を取りつつ、支援ツールや情報を提供し、起業や創業活動、企業の新事業展開などを総合的にサポートしていく事業として平成 20 年 1 月にオープンした。

2 事業内容 (目的・目標・方策)

理化学研究所を含む学術機関等が有する技術シーズ、知見を活用した学術機関発ベンチャーの起業及び中小企業等の新事業展開を支援することにより、新事業・新産業の創出を促進するとともに、地域社会へ貢献することを目的とし事業を行う。

(1) 平成 19 年度

平成 20 年 1 月のオープンを目指し、運営主体の 4 者で協議を重ねながら、賃料補助額、インキュベーションマネージャー等の施設運営体制、企業発掘募集、入居審査などの行い準備を進めた。平成 20 年 2 月に、理化学研究所内の鈴木梅太郎記念ホールにて盛大にオープニングセレモニーを実施した。

(2) 平成 20 年度

入居企業の支援が本格的に始まり、全 36 室 17 社の入居が完了し、埼玉県と賃料補助を行い賃料の

最大50%の補助を実施した。インキュベーションマネージャーの支援により、補助金申請や渋沢栄一ベンチャードリム賞受賞を受けながら、理化学研究所との共同研究や市内企業との交流が行われ中小企業への支援拠点として形成されつつある。

3 施策の開始前に想定した事業効果

施設の開所により、理研ベンチャーを中心とした高度な技術を有した企業が入居し、新技術開発、新産業創出が促されることが想定された。インキュベーションプラザ内で3年～5年事業を行い、企業が順調にプラザを卒業し、卒業後市内に誘致することにより地域産業の活性化に繋げることを期待する。

4 導入にあたり工夫・苦労した点、課題、対処法など

賃料補助額に関する調整やインキュベーションマネージャーの派遣について何度も調整会議を経て決定することに期間を要した。

最終的に最大半分の賃料を県・市で負担する補助額で決定した。また、インキュベーションマネージャーに適した人材の発掘を和光市商工会の協力を得て行うことができた。

5 現在の成果・実績、今後の展開など

入居企業への支援が着実に行われてきている。市内企業への支援も行っているが、支援が行き届いてない状況がある。平成21年度には、新規事業としてインキュベーションプラザ入居企業に留まらず、市内企業育成のために産業コーディネーターを派遣し、プラザを拠点として、理化学研究所、入居企業、市内企業の橋渡しをしながら、地域産業の活性化を図って行く。

予算関連データ 和光市

平成21年度額 ①～⑤の計		財源内訳(財源区分:①～⑤)				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
12,516千円		0千円	0千円	0千円	0千円	12,516千円
①～④の名称・所管等	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					